

アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：
 専門職と非専門職の枠組み
 ——資格と養成教育——

A Study of Personnel System in Public Libraries in the U. S. A. :
 Framework of Professional and Non-professional Staff
 ——Qualification and Education——

山 本 貴 子

1. はじめに

わが国の図書館界では、司書が専門職として確立しているとは言い難い。また、職務を専門職と非専門職とに分けることを拒否する考え方も見られる。一方、アメリカでは、ライブラリアンが専門職として確立しているのは自明のことである。また、アメリカの図書館職員全体の6割以上を占めると言われる図書館サポートスタッフ（Library Support Staff：以下、LSS）について、アメリカ図書館協会（American Library Association：以下、ALA）が2010年からLSSの養成教育プログラムを開始した。わが国では、LIPERによって日本の今後の図書館情報学に対する教育内容の提言がなされた。これは非常に網羅的で広範な調査研究であるが、調査が行われてから数年が経過し、さらに、に対する教育には言及していない。

そこで2009年から研究を開始した。まず、アメリカでは一般的に図書館職員の職務がどのように把握されているかについて、アメリカの職業分類を用いて調査し、加えて、公共図書館界で影響力を持つALAの人事方針について研究した。次に、アメリカでのLSSの歴史に焦点を当てて論じた。ここから、アメリカの図書館界では、その職務内容から専門職と非専門職に区別されており、

社会的にも両方の存在が認知されている点や、専門職ライブラリアンのみならず、LSS の養成も40年以上の歴史を持つ点などが明らかになった。次に、LSS の養成と ALA の取り組みについて執筆した。ⁱⁱⁱ また、ALA の図書館情報学認定基準の経緯についても研究した。^{iv}

しかしながら、これらではインターネット上のデータを収集することが中心となっており、実態の把握は不十分であった。そこで、2011年度大谷大学真宗総合研究所一般研究の助成を受け、「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：専門職と非専門職の枠組み」として実態調査を行った。この州を調査対象にした理由としては、ケンタッキー州には州法と「ケンタッキー公共図書館基準」があり、奉仕対象の規模による職員の人数や職員の資格などが詳細に規定されているからであった。

調査対象機関については、公共図書館 4 館 (Kentucky Department for Libraries and Archives、Lexington Public Library とその分館 Tates Creek Branch Library、Paul Sawyer Public Library)、大学・短期大学3機関および各機関の図書館 (University of Kentucky、Northern Kentucky University、Bluegrass Community and Technical College) とした。

調査方法としては、最初に、ホームページを作成し、調査対象機関へ本研究の内容を知らせた上で、e-mail での聞き取り調査を、次に、現地での実態調査を行った。実態調査の期間は2011年 9 月 4 日 (日) から同年 9 月14日 (水) であった。調査内容としては、図書館へは、現場の職員の職務内容と必要とされる要件など、教育機関へは、カリキュラム、取得できる学位・資格などであった。調査終了後、最終確認をし、調査結果の分析を行うとともに、12月10日、1月13日の2回にわたって学外に対する公開研究会を行った。

この研究については、中間報告として2012年 3 月に同タイトルの論文^vを^{vi}発表し、大谷学報にも「ノーザン・ケンタッキー大学図書館の教育サービス」が掲載される予定である。

以下では、ケンタッキー州における図書館専門職の資格と養成に焦点を当てて述べる。

2. ケンタッキー州の公共図書館概要

ケンタッキー州には117の様々な規模の公共図書館がある。各公共図書館は、

郡や市町村の長によって任命される理事の組織体である理事会 (board of trustees) によって基本的な方針が決められ、実際の運営は理事会によって任命される図書館長が行う。図書館長はあらゆる部門の最終責任者である。図書館運営に必要な職員の採用は、図書館長の推薦により理事会が決定する。^{vii}ケンタッキー州には公共図書館に関する州法があり、その州法により、公共図書館に勤務する専任の職員は図書館職資格証 (certificate of librarianship) を保持していなければならない。

ケンタッキー州図書館・公文書館局 (Kentucky Department for Libraries and Archives) が、日本国内での、いわゆる都道府県立図書館に相当する。ケンタッキー改正州法 (Kentucky Revised Statute: 以下、KRS) では、州図書館・公文書館局の権限及び義務を次のように規定している。

- 1) 州内のすべての公共図書館、及び今後公共図書館を設置しようと計画しているすべての郡 (county) に対して、職員を派遣して援助とアドバイスを与える。
- 2) 必要な所へ BM サービスを行う。
- 3) 州のいろいろな場所で図書館学教育の機会を設ける。
- 4) 公共図書館のためになると考えられる他のサービスも行う。
- 5) 州政府へのレファレンス・サービスを行うため、また、公共図書館を支援するために、強力な中央コレクションを構築する。^{viii}
- 6) 図書館サービスの不公平性をなくすために、図書館の協同や図書館システムの統合を計画する。その計画を実行する可能性のある機関には助成金を与える。^{ix}
- 7) ケンタッキー州の公共図書館サービスを進展させ、不公平性を是正するための助成金を捻出するために、州の一般会計からの出資による基金を設けること。
- 8) 州図書館・公文書館局に公共図書館への十分な助成を可能にさせる金額を、州の一般会計から支出されること。^x

これにより、州図書館・公文書館局は、ケンタッキー州内の公共図書館サービスを進展させるための先導役を担っており、また、図書館職員の資質向上に対しても一定の役割を負っていることがわかる。

これら以外にも、KRS では、州図書館・公文書館局内に、ケンタッキー州ラ

ライブラリアン資格委員会を設置することや、公共図書館は、ライブラリアンの職位、及び他の専任の図書館職務（職位）に、ライブラリアン資格委員会が授与する図書館職資格証を保持しない人を雇用してはならないなどが規定されている。

この図書館職資格証の制度では、職務における資格、資格の種類、及び資格のための科目に関して次のように規定している。^{xi}

職務における資格としては、奉仕対象となる住民の人数および職種によって、専門職資格証（professional certificate）、準専門職資格証（paraprofessional certificate）、図書館経験資格証（library experience certificate）の3段階に分かれ、さらに、専門職資格証は3つのレベルに分けられている。^{xii} そのうち専門職資格証Ⅰ・Ⅱは修士号の取得が求められているが、Ⅲでは、学士号を取得した人でも良いと言われている。

ケンタッキー州の公共図書館に勤務する専任の職員は、必ず上記のいずれかの資格を有しなければならない。資格証がない人のために、臨時資格証（temporary certificate）制度も設けられているが、有効期限は5カ年で、その間に従事している職務に相当する資格を取得しなければ辞職することになる。^{xiii}

これらの資格を取得するためには、各種教育機関で教育を受けることになる。ライブラリアン資格委員会が認めた機関で受講することで、資格証に必要な単位が認定される。

すべての資格証は有効期限5カ年となっている。5年後の更新に際しては、継続教育を受けたという証明をしなければならない。その継続教育の内容と時間数について省令で規定している。資格証更新のための学習活動を計る単位として継続教育ユニット（continuing education unit）を設定しており、1ユニットが1コンタクト時間に相当する。すなわち、^{xiv}コンタクト時間は、継続教育の量を計る具体的な方法である。一例をあげると大学院の科目履修（2学期制）では25コンタクト時間、論文（単著）では10コンタクト時間、ワークショップへの参加（50-70分）では1コンタクト時間などである。公共図書館の専任職員はこれらの継続教育を受けた場合、毎年、その内容を継続教育コンサルタント（Continuing Education Consultant）へ提出することになっている。

3. 図書館専門職養成機関の概要

今回調査した、コミュニティ・カレッジと4年制大学のカリキュラムや授与する資格等を概観する。4年制大学のうち、北ケンタッキー大学はALAのLSSCPへ科目を提供する機関の1つに、ケンタッキー大学はALAが認定するMLISの提供大学になっている。

3. 1 ブルーグラス・コミュニティ・技術大学 (Bluegrass Community & Technical College)

ブルーグラス・コミュニティ・技術大学は7つのキャンパスからなるネットワーク型コミュニティ・カレッジである。同カレッジでは、準学士号 (associate degree)、修了証 (diploma)、資格証 (certificate) などを授与する200以上のプログラムを設置している。

準学士号に関しては、4年制大学への転入可能な学位 (transfer degree) と技術/専門職学位 (technical/professional degree) の2種を設けている^{xv}。技術/専門職学位のプログラムとして、「看護学」(nursing)、「幼児教育」(early childhood education)、「情報管理及びデザイン」(Information Management & Design)、等がある。「情報管理及びデザイン」の中の専攻として、「図書館情報技術」(Library Information Technology)^{xvi}がある。それが、準学士号レベルのLSS養成である。

授与される準学士の称号は、Associate in Applied Science Degree in Information Management & Design - Library Information Technology Option である。

ブルーグラス・コミュニティ・技術大学には、LSSの資格証プログラムもある。それは、Academic Certificate in Library Information Technology プログラムと称され、このプログラムで履修する科目は、「情報管理及びデザイン」(図書館情報技術専攻)プログラムに流用することも可能である。LSSの資格証プログラムはすべてWebベースのオンラインで開講されている。資格証を取得するためには、必須科目も含めて18単位履修する必要がある(1科目は基本的に3^{xvii}単位)。

3. 2 北ケンタッキー大学 (Northern Kentucky University)

北ケンタッキー大学は、1968年、シンシナティ市(Cincinnati)の郊外に北ケンタッキー州立大学 (Northern Kentucky State College) として創立され、1973年に現在の名称に変更された。ケンタッキー州の8つの州立大学 (State University)の中で最も新しい大学である。2010年現在、約15,000人の学生と約2,000人の教職員を擁し、アメリカでは中規模の大学である。学位等に関しては、6の準学士号、70の学士号、20の修士号、法学博士号、教育学博士号を授与している。^{xviii}

2006年に情報学部 (College of Informatics) が設置された。情報学部は、9の学士号、5の修士号、5の大学院修了証 (Graduate Certificate) を授与している。^{xix}

① ライブラリー・インフォマティックス専攻理学士 (Bachelor of Science Library Informatics) プログラム

アメリカ連邦政府による図書館支援プログラムとして、2005年に“Laura Bush 21st Century Librarian Program”法が制定された。その目的は21世紀の図書館サービスを発展させることであり、図書館情報学研究者への研究支援、専門職ライブラリアンや図書館サポートスタッフの継続教育、図書館情報学の学生への経済援助、と多岐に渡っている。^{xx}

ケンタッキー州とウェストバージニア州はアパラチア山脈周辺に住む比較的貧しく、図書館サービスにも恵まれていない市民を抱えている。そのため、両州は“Laura Bush 21st Century Librarian Program”を利用したのそれら地域住民への図書館サービスの向上を計画した。^{xxi}それがノーザン・ケンタッキー大学図書館におけるライブラリー・インフォマティックス専攻理学士プログラム設置の契機となった。このプログラムは2009年からスタートし、LSS養成を行っている。

プログラムの設置理由としては、「情報図書館界はライブラリアンを必要としており、このプログラムが若い人々をその世界に惹きつけるのに役立つ」ということであり、大学院教育と異なり、高校の卒業生と直接に関連付けることによって、図書館情報専門職の多様性を高めるとも、すべての組織の業務において ICT が必須になっている現代、このプログラムは雇用者のニーズに応えると

もいわれている。このプログラムは、専門職ライブラリアンと LSS の養成・訓練というニーズに応え、また、遠隔教育により、州のどこに居住しても学士号を取得する機会を与えている、と強調する。ケンタッキー州では3分の1の図書館長がMLSを保持しておらず、このプログラムの必要性は特に高いとしている。さらに、このプログラムの存在によって、ケンタッキー州の図書館利用者が恩恵を被ること、を強調している。

Library Informatics プログラムでは、学生は一般教育科目に加えて、専門科目60単位を履修することにより学士号を取得するが、このカリキュラムは北ケンタッキー大学の図書館ファカルティ（専門職のライブラリアン）によって開発されている。^{xxii} Library Informatics プログラムにおける2010年の開講科目は、必須科目（9科目27単位）（基本的に1科目は3単位）、選択科目（3科目9単位）、インフォメーション・テクノロジー/コミュニケーション領域から3科目、心理学/社会学領域から2科目、および組織研究調査研究法領域から3科目、（Upper Division Elective Requirement. 8科目24単位選択必修）及び、上記科目履修のための必須科目から成る。^{xxiii}

北ケンタッキー大学では準専門職資格証を授与するためのプログラムとして、情報学部（College of Informatics）の中にビジネス・インフォマティクス学科（Dept. of Business Informatics）があるが、その中の専攻として2009年にライブラリー・インフォマティクス専攻理学士（Bachelor of Science Library Informatics）プログラムを設置した。そのプログラムはビジネス・インフォマティクス学科と大学図書館の協議、もしくは大学図書館がビジネス・インフォマティクス学科を説得した結果、設置されたものである。^{xxiv}

ライブラリー・インフォマティクス専攻の理学士プログラムは、100%大学図書館が責任を負う、100%オンラインのプログラムである。そのプログラムのために、大学図書館は Library Informatics Coordinator の肩書を持つ専任の専門職ライブラリアンを雇用し、ビジネス・インフォマティクス学科との合同任命（joint appointment）^{xxv} としている。

ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士の学位を取得するためには、学生は卒業までに120単位の科目を履修しなければならないが、2011年現在、以下のような科目が必修、および選択必修となっている。^{xxvi}

② 図書館キャリア開発 (Library Career Development) プログラム

北ケンタッキー大学図書館は、図書館情報学関連領域の職場で働く人、および今後働きたい人のために、同期や非同期のオンライン科目を提供している。それらオンライン科目は、同図書館の専門職ライブラリアンによって開発されたものである。^{xxvii}

この科目は、国内国外を問わず、誰でも受講することができるが、特にケンタッキー州の公共図書館で働く職員を視野に入れて開発されている。同州の公共図書館で図書館情報サービスを行う職員は、州の規定する専門職資格証、準専門職資格証、図書館経験資格証のいずれかを有していなければならない、さらに5年ごとに更新しなければならない。^{xxviii} ノーザン・ケンタッキー大学図書館における図書館キャリア開発は、その更新を主眼にしている。

また、アメリカの図書館界では、図書館サポートスタッフ (library support staff) の教育や資格証の重要性が認識され、ALA-APA (ALA Allied Professional Association) が2010年から図書館サポートスタッフ資格証 (library support staff certificate) プログラムを開始している。その資格証を取得するためには、必須科目3科目、選択必須科目 (3科目選択) を履修しなければならない。^{xxix}

北ケンタッキー大学図書館は、その図書館サポートスタッフ資格証プログラムの提供機関の1つになっており、同大学図書館の開講している Library Foundations 以下10コースは、図書館サポートスタッフ資格証プログラムの科目としても認定されている。^{xxx}

3. 3 ケンタッキー大学 (University of Kentucky)

ケンタッキー大学は、ケンタッキー州レキシントンに本部を置く州立大学で1865年に設置された。現在、州内の大学では学生数が28,000名以上、と最大であり、U.S. News and World Report 誌によれば州内でもっともレベルが高い学術研究機関である。

当大学は16学部あり、そのうち、通信情報学部 (College of Communication and Information) の中に図書館情報学科 (Library and Information Science) が含まれている。^{xxxi} ケンタッキー大学の図書館情報学部修士課程は、ALA の認定を受けたコースを提供しており、このコースを修了すると、ケンタッキー州内だけではなくアメリカ国内で専門職ライブラリアンとして勤務することができる。修士

課程は、大学図書館、公共図書館、健康情報などの9コースに分かれており、一つを選択することになる。大学院の修了には、必修4科目、選択1科目を含む42単位(14科目)と関連分野6単位(2科目)が必要である。^{xxxii}学部レベルでの情報学副専攻の修了には、18単位(8科目)が必要である。なお、修士課程、学士課程とも100%オンラインで単位を取得することができる。^{xxxiii}

なお、Lunch and Learn という、昼食時に無料のピザとソフトドリンクを取りながらの、だれが参加してもよい講座が年に数回設けられている。本研究も、ケンタッキー大学へ訪問した際、この講座に招待され討論会を行った。

4. 考 察

以上、ケンタッキー州の公共図書館に勤務する専任職員の資格制度と、3つの教育研究期間について概観した。

まず、ALA が要求する学歴と、ケンタッキー州が州法で定めている資格について比較しながら、ケンタッキー州の資格制度を取り上げる。^{xxxiv}専門職(professional)の枠では、ALA が要求する学歴とケンタッキー州の制度の間に大きな相違がある。ALA モデルでは専門職は大学院の学歴が必要であるとする。しかし、ケンタッキー州の制度では、専門職資格証 III は学士号を取得した人にも与えられる。2011年のケンタッキー州調査の際に、ライブラリアン資格委員会の委員である州図書館長に尋ねたところ、「ケンタッキー州には図書館サービスが進んでいる地域とそうでない地域があり、図書館サービスが極めて遅れている地域では、ケンタッキー州の制度で定める準専門職資格証を有する人さえ雇用できない図書館が多く存在する。そのような状況で図書館サービスを進展させるためには、専門職(professional)をALA モデルより広く解釈する方が得策である」とのことであった。

用語に関して比較すると、ALA モデルでは、‘librarian’の用語やタイトルはそれ自体専門職(professional)を暗示していると記し、専門職以外の地位(ランク)に‘librarian’の用語を使わないよう提唱している。しかし、ケンタッキー州法やライブラリアン資格委員会では、‘public librarian’の用語が使用される。また、ケンタッキー州法では、図書館に勤務する職員は全員専門職でなければならないと規定されているため、職員は全員、専門職であることを証明する専門職資格証、準専門職資格証、図書館経験資格証、のいずれかを有することが

義務付けられている。ケンタッキー州が置かれている特殊状況から発生したのか、それとも、他の州でも同じ状況にあるのか、その解明は今後の課題である。

5. おわりに

我々は2011年9月に、「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：専門職と非専門職の枠組み」のテーマの下に、ケンタッキー州の公共図書館職員とその養成に関する調査を行った。ケンタッキー州の図書館職資格証の制度は、州図書館・公文書館局ライブラリアン資格委員会と大きく関係するため、第3章で州図書館・公文書館局、第4章でライブラリアン資格委員会に関して概観した。そして、第5章と第6章で図書館職資格証及びその更新に関して概観した。第7章では、ALAモデルと比較しながら、全体的な考察を試みた。

ケンタッキー州の公共図書館員の資格制度の最も大きな特徴は、図書館情報サービス（library information service）という業務に就いているすべての専任の職員が何らかの図書館資格を要求されていることであった。そのような話は今まで聞いたことがなかったので、大きな驚きであった。

2番目の特徴は、ケンタッキー州では専門職（専門職図書館員）をALAモデルより広く、ゆるやかに理解していたことであった。ケンタッキー州の「21単位の図書館学の履修を含む、学士号を取得した人」も専門職図書館員の資格がある。現在は、キャリアパスの時代だと言われている。ケンタッキー州的考え方は、準専門職資格証が該当する業務に採用されたとしても、職務を続けながら継続教育を受けることにより、専門職資格証の資格が取れるということを意味する。特にケンタッキー州では、州図書館・公文書館局が積極的に継続教育を進めておりその機会は多い。

3番目の特徴として、ケンタッキー州における公共図書館員の資格には専門職資格証、準専門職資格証、図書館経験資格証の3種があるが、それらの資格には有効期限があり、5カ年ごとに更新の必要があることであった。

資格証の更新の目的は、継続的に知識と技術をレベルアップしているかどうかの確認であり、市民への説明責任の一端を示すものである。さらに、「自分たちはプロのサービスをしている」という意識の反映でもあろう。継続的に知識と技術をレベルアップしている証拠を示すことができなければ、すなわち、更新に失敗すれば毎年罰金を払うことになり、最終的には辞職させられるので、

厳しい社会であるとも言える。

最後に、上述したように、今回調査した養成教育機関はすべて100%オンラインで授業を行っていた。このことにより、ケンタッキー州以外からの受講生も受け入れることができると、どの機関の長も述べていた。図書館職員になりたいという人たちは、いわゆる、第二の人生を過ごしている人が多いので、通常の大学のように通学するというよりもこの方がより便利であるとのことであったが、一方で、通常の学生も少なくない。その人たちによると、色々な人たちのコミュニケーションが図れないので残念であるとの声も聞かれた。今後、どのように進展するのが注目される。

本研究では、引き続き、他の州の教育機関が行っている図書館職員の養成教育について調査を行う予定である。

最後に、本研究については、大城善盛(花園大学非常勤講師)、漢那憲治(龍谷大学教授)、瀬戸口誠(梅花女子大学准教授)と山本貴子の4人が共同で行っている。漢那憲治先生、瀬戸口誠先生には、何度も深い知識に基づいたご教示をいただきました。ありがとうございました。特に、研究の根幹部分を分担していただいている大城善盛先生には、心より感謝いたします。

本論文は、大谷大学真宗総合研究所2011年度一般研究(個人研究)の研究成果の一部である。

註

- i 山本貴子、大城善盛、漢那憲治、中島幸子、「アメリカにおける図書館職員の要件と資格」、『大谷学報』、第90巻第1号、p. 49-69、2010年。
- ii 山本貴子、大城善盛、漢那憲治、瀬戸口誠、「アメリカにおける図書館サポートスタッフの動向」、『大谷学報』第90巻第2号、p. 1-23、2011年。
- iii 山本貴子、大城善盛、瀬戸口誠、漢那憲治、「アメリカにおける図書館サポートスタッフの養成」、『大谷大学研究年報』第63集、p. 111-152、2011年
- iv 中島幸子、大城善盛、漢那憲治、山本貴子、「ALAの図書館情報学教育認定基準2008年版に関する考察——1992年版の改定と課題を中心に——」、『同志社図書館情報学』通巻第21号、p. 21-50、2010年
- v 山本貴子、「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究——専門職と非専門職の枠組み——」『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』第29号、p. 89-106、2012年。

- vi 山本貴子、大城善性、漢那憲治、瀬戸口誠、「図書館情報学ノーザン・ケンタッキー大学図書館の教育サービス」『大谷学報』第91巻第1号、2012年、(掲載予定)
- vii State of Kentucky, Kentucky Revised Statute : KRS171.00. <<http://www.lrc.ky.gov/KRS/171-00/CHAPTER.HTM>> [2011-12-15]
- viii State of Kentucky, Kentucky Revised Statute : KRS171.140. <<http://www.lrc.ky.gov/KRS/171-00/140.PDF>> [2011-12-15]
- ix State of Kentucky, Kentucky Revised Statute : KRS171.200. <<http://www.lrc.ky.gov/KRS/171-00/200.PDF>> [2011-12-15]
- x State of Kentucky, Kentucky Revised Statute : KRS171.201. <<http://www.lrc.ky.gov/KRS/171-00/201.PDF>> [2011-12-15]
- xi State of Kentucky, Kentucky Administrative Regulation : 725KAR2 : 060. <<http://www.lrc.ky.gov/kar/725/002/060.htm>> [2011-12-15]
- xii State of Kentucky, Kentucky Administrative Regulation : 725KAR2 : 060. <<http://www.lrc.ky.gov/kar/725/002/060.htm>> [2012-6-15]
- xiii State of Kentucky, Kentucky Administrative Regulation: 725KAR2 : 070. <<http://www.lrc.ky.gov/kar/725/002/070.htm>> [2012-6-15]
- xiv Kentucky State Board for the Certification of Librarians, Certification Manual 2010. Kentucky Department for Libraries and Archives, 2011, p. 25-26.
- xv Bluegrass Community & Technical College, Bluegrass Community & Technical College, <<http://www.bluegrass.kctcs.edu/>>, [2012-6-15].
- xvi Bluegrass Community & Technical College, *Information Management & Design-Library Information Technology Option*.
- xvii Bluegrass Community & Technical College, Academic Certificate in Library Information Technology. <http://legacy.bluegrass.kctcs.edu/csis/lit/academic_certificate_in_library_information_technology/>, [2012-6-15].
- xviii Northern Kentucky University, About Northern Kentucky University. <<http://www.nku.edu/about/index.php>> [2012-6-15]
- xix *ibid.*
- xx American Library Association, LIBRARY AND INFORMATION STUDIES EDUCATION AND HUMAN RESOURCE UTILIZATION A STATEMENT OF POLICY: EXECUTIVE SUMMARY. <<http://www.ala.org/ala/aboutala/offices/hrdr/educprofdev/lepu.pdf>>, [2012-6-15].
- xxi Northern Kentucky University, Federal Grant Will Help NKU Assist Rural Communities in Educating Library Staff. <<http://rgc.nku.edu/ext/index.php/home/1-research-grants-and-contracts/26-federal-grant-will-help-nku-assist-rural-communities-in-educating-library-staffs>>. [2012-5-11] ; West Virginia Librarians, WVLibrarians: About Us. <<http://wvlibrarians.org/?q=page/about->

- us> [2012-5-11]
- xxii Northern Kentucky University, NKU launches B. S. in Library Informatics program. <http://nku.edu/display_news.php?ID=3508>, [2012-6-15].
- xxiii Northern Kentucky University, Undergraduate Catalog, 2010-2011. <<http://access.nku.edu/catalog/2011Catalog/catalog2011.pdf>>, [2012-6-15].
- xxiv この情報については、同大学図書館を2011年に訪問調査した際に入手した。
- xxv *ibid.*
- xxvi Northern Kentucky University, Undergraduate Programs: Bachelor of Science Library Informatics: Courses. <<http://nkuonline.nku.edu/undergraduate/programs/bslibraryinformatics/courses.html>> [2012-5-11]
- xxvii Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, Library Career Development <http://library.nku.edu/professional_development/index.php>. [2012-5-10] ; ALA-APA (ALA Allied Professional Association), Library Support Staff Certificate: Approved Courses. <<http://ala-apa.org/lssc/approved-courses/>>. [2012-5-10]
- xxviii 山本貴子『真宗総合研究所研究紀要』*op. cit.*
- xxix 山本貴子、大城 善盛、瀬戸口 誠、漢那 憲治『大谷大学研究年報』*op. cit.*
- xxx ALA-APA (ALA Allied Professional Association) *op. cit.*
- xxxi General Overview of the LIS Program <<https://ci.uky.edu/lis/content/general-overview-lis-program>>. [2012/06/11]
- xxxii University of Kentucky Academic Tracks, <<https://ci.uky.edu/lis/content/academic-tracks>> [2012-6-15]
- xxxiii Undergraduates-The Information Studies Minor <<https://ci.uky.edu/lis/undergraduate>> [2012-06-15]
- xxxiv Library and Information Studies and Human Resource Utilization Policy. <<http://www.ala.org/ala/aboutala/offices/hrdr/educprofdev/lepu.pdf>> [2011-12-15]
- なお、この表については、参考文献 i (大谷学報第90巻第1号) で詳細に検討している。